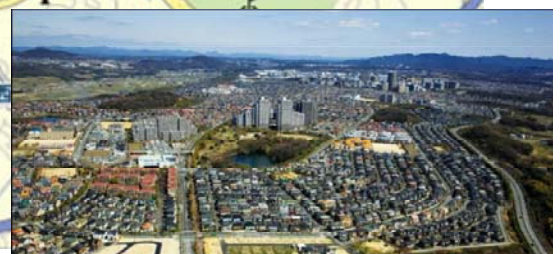


神戸地区モビリティサポートモデル事業 の概要について

KOBEカード協議会

テーマ:ターミナル駅周辺における歩行者移動支援を目的とした場所情報コードの活用とバス運行情報等の一元化による円滑な移動情報の提供

- 対象は神戸市西神中央地区…都心(三宮)から電車で30分のニュータウン
- 住宅地のほか、西神工業団地や神戸ワイン城などの観光施設も点在



西神中央地区での取組概要

- バス停留所に位置特定インフラとしてQRコードタグ(場所情報コード)を配備し、バス停ごとの情報を携帯電話から取得し、利用者へのバス運行詳細情報、主要施設情報等の提供を行う。



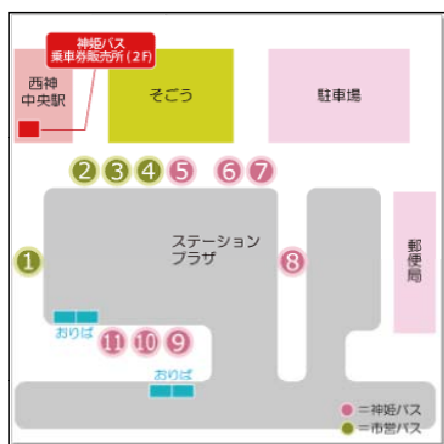
西神中央駅バスターミナルの特徴

- 地下鉄終点駅であり移動の重要な拠点
- 複数のバス事業者が乗り入れて周辺地域への路線が錯綜
(神戸市交通局・神姫バス)
- ターミナルのバス乗り場がわかりにくい
(路線が多い)

神戸市バス



バスのりば



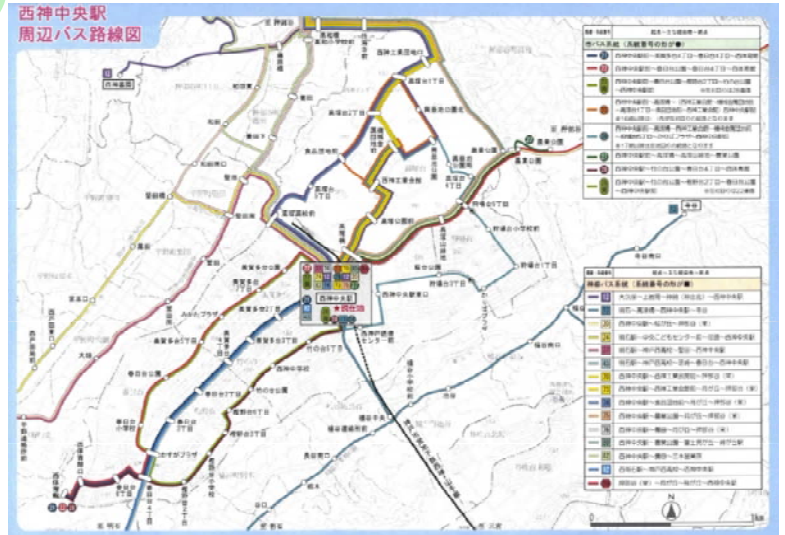
神姫バス

バス情報提供の課題

- 改札前にはバスの情報がない
- バスターミナルでも系統や発車時刻がわかりにくい
- 複数の事業者が運行しており、バス路線網が複雑
- WEBの情報提供も事業者ごと



複雑なバス路線網



そこで今回の取組では……

まず、駅前で乗りたいバスを調べてから

- バス発車案内をリアルタイムで配信するバス乗り継ぎ情報提供表示システムを西神中央駅改札前に設置



<画面構成>

- ① 発車時刻は複数の事業者を一括した発車順(8本)
- ② 系統ごとの全停留所をスクロール表示
- ③ 先発バス4本の経由ルートを表示
- ④ 駅のバス乗り場を図上表示
- ⑥⑦ 都市情報・広告画面



設置箇所
(改札前)

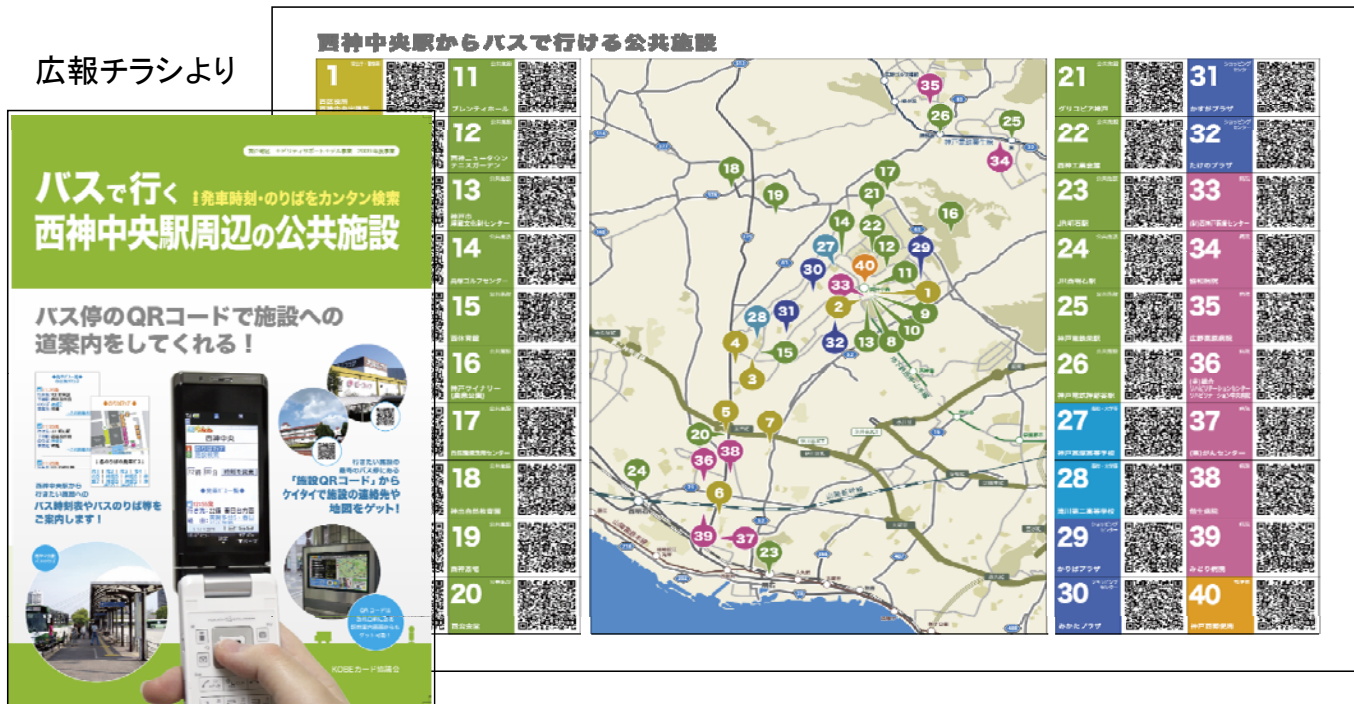
鉄道駅の改札前から、Ucode-QRを活用して
目的施設までの連続した移動支援サービスを提供



対象施設(バスで行ける公共施設を中心に40箇所)

■ 区役所・学校・病院・ショッピングセンター・近郊鉄道駅等

広報チラシより



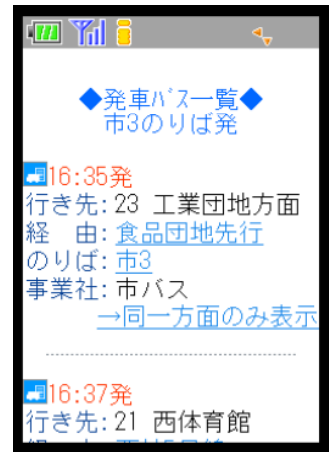
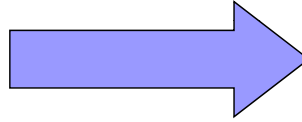
取組の状況(QRコードタグの設置)

- 西神中央駅バスターミナル各のりばの標柱に、QRコードタグ設置(バスの発車情報をリアルタイムで表示)
- 対象施設の最寄バス停の標柱に、QRコードタグ設置



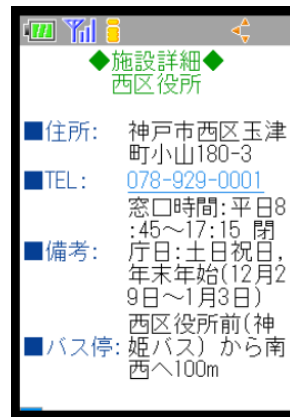
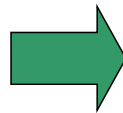
西神中央駅標柱

バスターミナル各のりばの発車バスを表示



施設最寄りバス停

施設の情報とマップを表示



実施日程と取組結果

実施日程	実施内容
2009年11月27日(金) 取組スタート	「バス乗り継ぎ情報提供システム」運用開始 対象施設のQRコードを印刷したチラシを配布
2009年12月下旬	「バス乗り継ぎ情報提供システム」 広報チラシを配布
2010年1月上旬	「バス乗り継ぎ情報提供システム」 ポスターを各駅に掲示
2010年1月下旬～2月上旬	アンケート調査(配布・WEB)の 実施及び分析

- WEBアクセス数: 523(PC含む)/2ヶ月
- アンケート回答者数: 131名



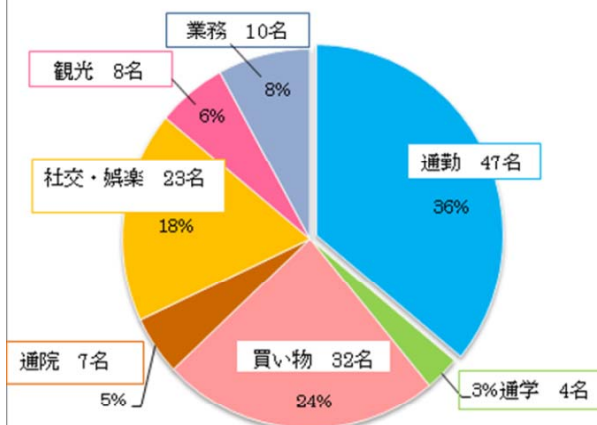
広報チラシ

取組の評価 (アンケート結果)

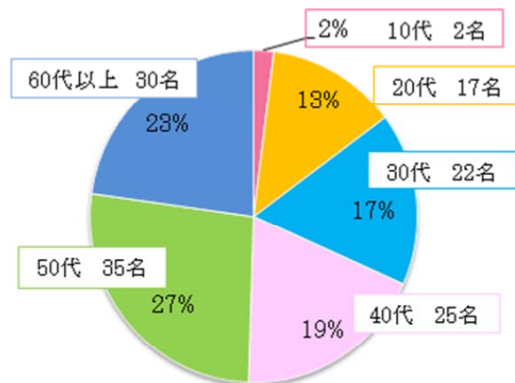
131名分を回収

■ 年齢・居住地・移動目的

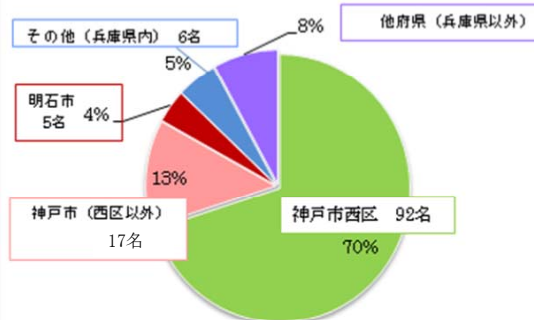
西神中央で移動される際の主な目的



年齢



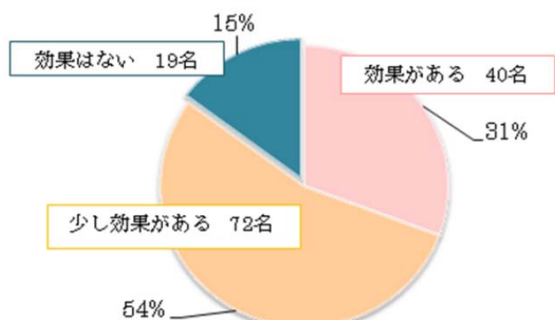
お住まい



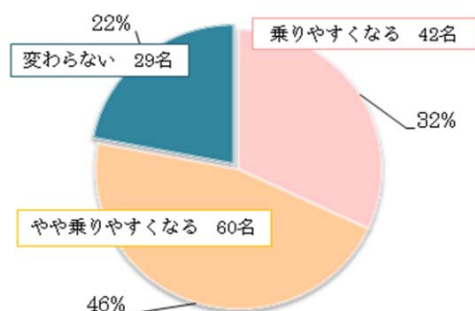
今回の情報提供システムの効果

■ 歩行による移動をサポートし、バスや鉄道の利用促進に効果がある、バスに乗りやすくなる との評価

「えきバスねっと。」のサービスは、歩いて移動するのをサポートし、バスや地下鉄の利用を促進するのに効果があると思いますか？

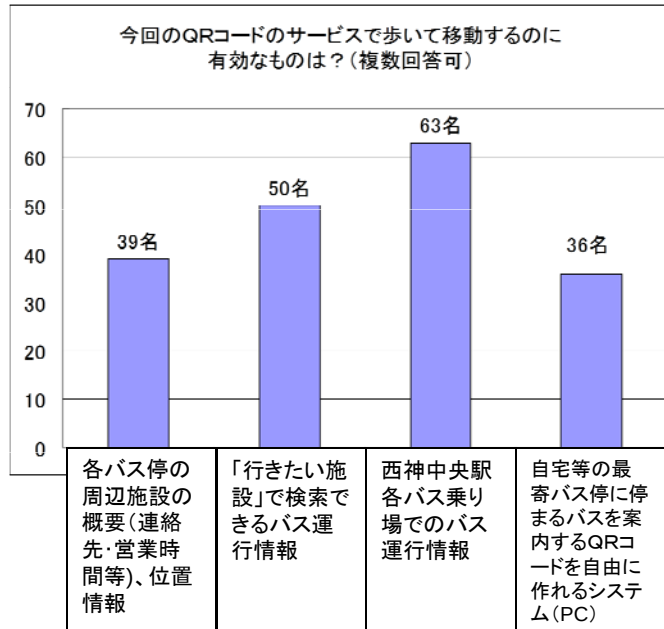


「えきバスねっと。」のサービスで、バスは乗りやすくなると思いますか？

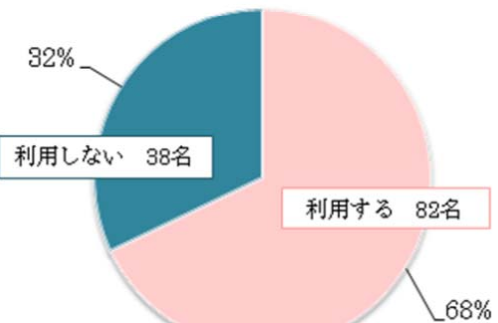


今回のQRコードサービスで有用なもの、今後の継続についての取組参加者の希望

- 西神中央駅各バス乗り場や「行きたい施設」で検索できるバス運行情報が好評、68%の回答者が継続を希望



今回のQRコードによるサービスが取組終了後も継続されたら、利用しますか？



追加機能等への要望

対象施設の拡大、施設からの帰りのバス情報提供など

まとめ・他地域への展開に向けて

- 一般に普及している携帯電話とQRコードで利用できるサービス
- 駅でのバス乗り継ぎ情報提供は効果的
- QRコードタグによる携帯WEB配信情報も好評価
- 実験参加者の多くが継続を希望

- 当面、情報提供を維持し、情報の充実やシステム改良を目指す
- QRコードの対象施設の拡大や帰路のバス情報提供が目標
- 今後継続していくためには、システムの情報追加や維持管理の費用負担・運営体制等が課題

- 歩行と公共交通を組み合わせた移動のサポートとして効果的
- 拠点駅を中心に広がったニュータウン等の地域で展開できる